

令和8年3月版

活用前編

発注者・
施工者共通

新技術活用時のオンライン提出(登録)方法

～ID発行から、新技術活用計画書提出(登録)まで～

本マニュアルは、
新技術を活用する際の手続きの流れと
新技術活用計画書の作成および登録
について示したものです。



国土交通省 中国地方整備局
中国技術事務所

新技術活用時のオンライン登録方法 目次 【発注者・施工者共通】

新技術活用時のオンライン登録の変更概要 1 ページ

～詳細な手順～

- I ID・パスワード新規発行 詳細手順 2-4 ページ
- II 新技術活用計画書の作成・登録 詳細手順 5-6 ページ

新技術活用計画書の記載内容

- 1 活用等の型 7 ページ
- 2 工事期間・活用理由等 8 ページ

新技術活用計画書の提出 9 ページ

確認者から発注者(監督員)への確認・修正依頼 10 ページ

発注者から施工者への確認・修正依頼 11 ページ

技術活用計画書 よくある不備・よくある質問(Q&A) 12-14 ページ

新技術活用時のオンライン登録の変更概要

これまでの主な変更点

令和4年度

- 新技術を活用時
⇒ 全てWEB上で提出（登録）が可能
活用計画書の提出から活用効果調査表の提出まで、
全てWEB上で完結するようになりました。

令和5年度

- ID発行が、活用技術毎から、工事毎へ変更
⇒ 1技術につき、1IDであったものが、
1工事ごとに、1ID発行となり、
1つのID内に複数の技術を登録可能
⇒ ID発行後、
ID内で活用技術の追加・削除が可能
- VEについて、実施報告書の作成が不要
⇒ VEは活用計画書の提出だけとなった

令和6年度

- システム改良に伴う、システム発送メール文案変更や、
バナー表示の変更等に対する変更
活用計画書と活用効果調査表の表現の変更など。

活用効果調査表へ ⇨ 活用効果調査表／活用計画書へ

コリンズ/テクリス番号・連絡先等の変更 ⇨ 工事/業務情報・連絡先等の変更

- 工事期間について各々の活用計画書に入力から
⇒ 「1 ID」単位の入力に変更 ⇒ 3 参照
- 運用を通じての留意点の見直しやブラッシュアップ等

令和7年度 (R7.4.1~)

- 活用効果調査表の評価を行う原則6項目について、「当該技術
に関連しない項目である」は選択しない
- 経済性の評価については、イニシャルコストのみで評価とする

令和7年度 (R8.1.28~)

- 活用効果調査表の評価を行う原則6項目について、「当該技術
に関連しない項目である」は非表示に変更
- 特段の優位性がない場合や違いがない場合には「同等(3点)」
を選択し、コメント欄に「従来技術と同等」と記載する

I ID・パスワード新規発行 詳細手順-1

ID/パスワードの発行の手順を示します。**茶色が施工者** **緑色が発注者** の操作となります。

- ※NETISへアクセス (<https://www.netis.mlit.go.jp/netis/>)
- ① 活用効果調査表／活用計画書タブを選択
- ② WEB活用効果調査表の「作成」を選択

- ④ 申請情報入力 (留意点は次ページ参照)
- ⑤ 申請ボタンをクリック (この画面から入力した「監督者メールアドレス」宛てに申請承認メールが送信されます)

施工者

こちらのタブではないので注意して下さい。

① このタブを選択

活用効果調査表／活用計画書

② クリック

WEB活用効果調査表

作成

次の様式が作成できます。

- 新技術活用計画書・実施報告書
- 活用効果調査表 (発注者用)
- 活用効果調査表 (施工者用)

活用効果調査表の作成にあたっては、「NETIS機能操作マニュアル(オンライン活用効果調査表作成)」を確認してから行ってください。
※マニュアルは随時更新されますのでご注意ください。

施工者

ログインID/PW新規登録フォーム

活用効果調査表/活用計画書の作成・登録に必要なログインID/パスワードを新規発行します。
以下の内容を入力の上送信してください。

④ 申請情報入力
留意点は次ページ参照

設計書番号 反映した設計書番号:
工事情報参照 ※NETIS内に工事情報が格納されている場合、情報を参照・転記

受注者名 ○○株式会社

組織機関名 中国地方整備局

部署・事務所名 中国技術事務所

発注課 管理課

工事名 令和6年度国道2号・54号●●地区他修繕工事

工事のコリンズ/テクリス番号 4000000006

工事期間 2025/01/10 ~ 2026/02/27

登録済みの調査表の「新技術施工期間」が変更後の「工事期間」内に含まれることを変更することは出来ません。
※「新技術施工期間」が【令和6年4月1日～令和7年2月28日】のとき、「令和7年2月28日」より前にすることは出来ません。

工事/業務の種別 工事

調査者 (施工者) 氏名 山田 太郎

調査者 (施工者) メールアドレス yamada@○○.co.jp

監督者氏名 監督 次郎

監督者メールアドレス kantoku-m87e@mlit.go.jp

③ 「ログインIDパスワードを新規登録」の文字をクリック

施工者

NETIS NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

ログインID

パスワード

ログイン キャンセル

③ クリック

ログインIDパスワードを新規登録

注意

- 原則1工事につき1IDです
- 過去の工事で使ったIDやPWを使い回さないで下さい
- 新規工事は必ず新しいIDを新規登録して下さい。

ログインID/パスワードをお持ちでない方はこちらから新規登録をお願いします。

施工者

アルファベットは大文字
末尾記号(A, VE等)は除く

技術活用提案日は、基本的に施工計画書提出日として下さい。
技術提案を行った技術については、技術提案日として下さい。

⑤ 申請ボタンをクリック
⇒監督者へ承認依頼メール自動送信

技術を追加する

新技術のNETIS番号 (1技術目) KT-180104

新技術のNETIS番号 (2技術目) KT-240161

技術活用提案日 2025/01/31

技術活用提案日 2025/01/31

複数技術を活用する場合には、「技術を追加する」ボタンにより、入力フォームを追加します。この事例では、フォームを追加して2技術同時に申請となっています。なお、ID発行後に技術の追加を行うことも可能です。

ID・パスワード新規発行「申請情報入力時のポイント」

3

設計書番号（契約番号）より工事情報を自動転記できます。
*設計書番号を入れ、工事情報参照を押す事で赤括弧内が自動転記されます。（発注課除く）

また、システム反映にタイムラグがあるため参照情報が入っていない事もあります。
この機能はアシスト機能ですので、必ずしも使う必要は有りません。

設計書番号 反映した設計書番号：
工事情報参照 ※NETIS内に工事情報が格納されている場合、

受注者名 ○○株式会社

組織機関名 中国地方整備局

部署・事務所名 中国技術事務所

発注課 管理課

工事名 令和6年度国道2号・54号●●地区他修繕工事

工事のコーンズ/テクリス番号 4000000006

工事期間 2025/01/10 ~ 2026/02/27

工事/業務の種類 工事 工事の場合工事をプルダウンから選択

調査者（施工者）氏名 山田 太郎

調査者（施工者）メールアドレス yamada@○○.co.jp

監督者氏名 監督 次郎

監督者メールアドレス kantoku-m87ef@mit.go.jp

R7. 2追加項目
発注課を入力して下さい。（工務課や管理課等）

○：「工事名」確認のポイント

正：「令和6年度国道2号・54号●●地区他修繕工事」

誤：「令和6年国道2号・54号●●地区他修繕工事」
→ 「度」が抜けている。あるいは、
「令和5年度」丸々抜けていないか。

誤：「令和6年度_国道2号・54号●●地区他修繕工事」
→ 余計なスペースが入っていないか。
スペースは入れないで下さい。

○：「コーンズ番号」確認のポイント

「契約番号（設計書番号）」が入っていないか。

コーンズ番号は、必ず、4から始まる10桁の数字となります。
契約番号は、2から始まる14桁程度の数字となります。

R7. 2追加項目
契約工期を入れて下さい。⇒活用計画書の工期欄に自動反映されます。
1 ID内で工期は、統一されます。

【重要】メールアドレスの確認

監督者のメールアドレスを間違えた場合、監督者に申請メールが届かず、配信不能メールも返ってこないで誤配信したのかも確認できません。
メールアドレスは、やりとりした事のあるメールからコピー＆ペーストする事をおすすめします。

- ID/PW発行申請操作したのに、監督員へメールが届かない。
→ 監督員のアドレスが間違っている。今までのこのお問い合わせは100%タイピングミスと判明しています。
この場合は、リカバリーできませんので、再度、最初から入力していただく事になります。
- 監督員がID/PW発行承認しても、ID/PW発行メールが施工者に届かない。
→ 施工者のメールアドレスが間違っている。
監督員のメールアドレスが正しければ、監督員へは、施工者のID/PWも通知されていますので、監督員より施工者用のID/PWを聞き、そのIDでログインして施工者のメールアドレスを修正する事で対応できます。
具体的な修正方法は⑥ページの右上に掲載。

- ⑥ 発注者は申請承認メールのリンク「ID/PW発行申請確認用Webサイトへ」をクリック
- ⑦ 発注者は申請情報を確認し「承認」をクリック
(発注者が承認操作を行うと、発注者及び施工者別にオンライン活用計画書入力用「ログインID/PW」が自動送信されます)

新技術活用工事。
発注者 ご担当者様。

⑥「ID/PW発行申請承認用Webサイトへ」をクリック

施工者より、NETIS 活用計画書入力用 ID/PW の発行申請が届いております。
以下のリンクから ID/PW 発行申請確認用 Web サイトにアクセスいただき、申請内容をご確認の上 ID/PW 発行の承認をお願いいたします。

[ID/PW 発行申請承認用 Web サイトへ](#)

※確認完了後、システムから発注者・施工者に ID/PW をメール通知いたします。

【新技術活用工事情報】

受注者名。 ○○株式会社。
組織機関名。 中国地方整備局。
部署・事務所名。 中国技術事務所。
工事名。 令和6年度国道2号・54号●●地区他修繕工事
工事のコリンス番号 4000000006。

【活用計画書を作成する新技術の NETIS 番号】
・KT-240161。

Web上の申請情報を確認し、内容に問題がない場合は「承認」ボタンをクリックする。
※内容に問題がある場合は、棄却ボタンにて棄却する。棄却ボタンを押すとコメント入力欄が表示されるので、棄却理由を入力後「申請者に送信」ボタンを押す。申請者は棄却理由を確認して再度、新規に申請を行う。

発注者

受注者名	○○株式会社
組織機関名	中国地方整備局
部署・事務所名	中国技術事務所
発注課	管理課
工事名	令和6年度国道2号・54号●●地区他修繕工事
工事のコリンス番号	4000000006
工事期間	2025/01/10 ~ 2026/02/27
工事/業務の種類	工事
調査者(施工者)氏名	山田 太郎
調査者(施工者)メールアドレス	yamada@○○.co.jp
監督者氏名	監督 次郎
監督者メールアドレス	kantoku-m87ef@milt.go.jp

承認 棄却

工事名をチェック
・正式な工事名になっているか
・年度が抜けていないか
・不要なスペースがないか

コリンス番号をチェック
※4から始まる10桁の数字

⑦ 内容を確認して承認をクリック
⇒ ID/PWが、監督者・施工者へ自動送信される。

新技術活用工事。
発注者 ご担当者様。

発注者用 ID/PW通知メール

発注者

NETIS 活用計画書入力用 ID/PW 発行申請が承認されましたので、ID/PW をお知らせします。
以下の ID/PW で、活用計画書入力用 Web サイトへログインの上、活用計画書の入力をお願いいたします。
※ID/PW はログインに必要となりますので、紛失しないよう保管をお願いいたします。

【ID/PW】
施工者用 ID ABCDE PW 12345
発注者用 ID LMNOP PW 98765

発注者には、施工者用の ID/PW も同時に通知されます。

【新技術活用工事情報】

受注者名。 ○○株式会社。
組織機関名。 中国地方整備局
部署・事務所名。 中国技術事務所
工事名。 令和6年度国道2号・54号●●地区他修繕工事
工事のコリンス番号 4000000006。

新技術活用工事。
ご担当者様。

施工者用 ID/PW通知メール

施工者

NETIS 活用計画書入力用の ID/PW が発行されましたのでお知らせします。
以下の ID/PW で、活用計画書入力用 Web サイトへログインの上、活用計画書の入力をお願いいたします。
※ID/PW はログインに必要となりますので、紛失しないよう保管をお願いいたします。

【ID/PW】 施工者用 ID ABCDE PW 12345

施工者は ID/PW が届いたら
速やかに新技術活用計画書を作成 (次ページ⑤へ)

Ⅱ 新技術活用計画書の作成・登録 詳細手順

活用計画書の作成・登録の手順を示します。

- ① 施工者はID/PWの通知メール又は、NETISのHPから、ログイン画面へアクセスする。
- ② ID/PWを用いて活用計画書入力用ページへアクセスする。

新技術活用工事
ご担当者様

NETIS 活用計画書入力用のID/PWが発行されましたのでお知らせします。
以下のID/PWで、活用計画書入力用Webサイトへログインの上、活用計画書の入力をお願いいたします。
※ID/PWはログインに必要となりますので、紛失しないよう保管をお願いいたします。

【ID/PW】 施工者用 ID ABCDE PW 12345

【新技術活用工事情報】

受注者名 ○○株式会社
組織機関名 中国地方整備局
部署・事務所名 中国技術事務所
工事名 令和6年度国道2号・54号●●地区他修繕工事
工事のコリンス番号 4000000006

【活用計画書を作成する新技術のNETIS番号】
・KT-240161

施工者

① 「活用計画書入力用Web用サイトへ」をクリック

活用計画書入力用Webサイト(施工者用)
活用計画書入力用Webサイトへ

NETIS 新技術情報提供システム
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

施工者

ログインID ABCDE
パスワード 12345
ログイン キャンセル

② ID/PWを入力後、ログインボタンをクリック

参考：NETISのHPからアクセスする場合
(<https://www.netis.mlit.go.jp/netis/input/pubsearch/search>)

NETIS 新技術情報提供システム
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

施工者

活用効果調査表 / 活用計画書

このタブを選択

① クリック

WEB活用効果調査表

- 活用効果調査表 (発注者用)
- 活用効果調査表 (施工者用)

活用効果調査表の作成にあたっては、「NETIS機能操作マニュアル(オンライン活用効果調査表作成)」を確認してから行ってください。
※マニュアルは随時更新されますのでご注意ください。

旧システムで作成した活用効果調査表の内容を修正する場合は、こちら

Ⅱ 新技術活用計画書の作成・登録 詳細手順

③ ログイン後の活用技術の管理画面が表示されたら、「活用効果調査表／活用計画書へ」をクリックして活用計画書を作成する。
※工事名や連絡先の修正や、ID発行後の登録技術の削除・新たな技術の追加はこの管理画面から行う事が出来ます。

工事名や連絡先等の修正画面

このバナーのリンク先で以下の作業を行う事ができます。
・この工事 (ID) において、活用技術を新たに追加
・1度登録した技術の削除

④「活用等の型」について、選択内容を確認する。

「活用等の型」の種類

- ◆ 発注者指定型
 - …特記仕様書にて使用が指定されている技術
- ◆ 発注者指定型（選択肢提示型）
 - …特記仕様書にて指定された技術リストから選択した場合
- ◆ 施工者選定型（総合評価技術提案）
 - …契約前に技術提案した技術
- ◆ 施工者選定型（契約後提案）
 - …契約後に活用を提案した技術

※その他の活用型については、発注課までお問合せください。

（ 試行申請型（発注者指定） / 試行申請型（契約後提案） / フィールド提供型 / テーマ設定型（技術公募） ）

※120分間でタイムアウトします。作成の都度、一時保存を行ってください。一時保存は画面上部メニュー詳細画面上部の基本項目を変更した場合は、工事/業務情報画面の「工事/業務情報・連絡先等の登録内容に関するお問い合わせはこちら」

※「活用等の型」の選択にあたっては、下記「新技術活用スキーム実施要領」

④ 活用等の型をプルダウンメニューから選択

活用等の型を選択する際に間違いやすいので注意して下さい。

- ・ほとんどが上段の4つの型になります
- ・そのうち大多数は**施工者選定型（契約後提案）**となります

- 施工者選定型（契約後提案）
 - 施工者選定型（総合評価技術提案）
 - 発注者指定型
 - 発注者指定型（選択肢提示型）
 - 試行申請型（発注者指定）
 - 試行申請型（契約後提案）
 - 試行申請型
 - フィールド提供型
 - テーマ設定型（技術公募）
- 特殊な型

「快適トイレ」の場合

◆NETIS登録された「快適トイレ」を使用する場合は、「発注者指定型」となります。

発注者指定型（選択肢提示型）の場合

- ◆令和6年度までは「写真管理の生産性向上に資する技術」が対象でした。
- ◆令和7年度以降、中国地整運用として「発注者指定型（テーマ提示型）（省人化技術）」を新たに設定しました。上記にて新技術を活用した場合には「発注者指定型（選択肢提示型）」としてNETISへ登録してください。
- ◆特記仕様書に「発注者指定型（テーマ提示型）（省人化技術）」の対象工事である旨の記載がなければ「発注者指定型（選択肢提示型）」になりません。



新技術活用計画書 記載内容-2 工事期間、活用理由等

⑤～⑩ 活用計画書の必要事項を記入する。

新技術活用計画書 実施報告書 活用効果調査表 (施工者用)

施工者

記入完了 **⑩ 全て記入完了後 チェック ⇒次ページへ**

※下記項目の記入が完了したら、記入完了にチェックを入れて、「登録」ボタンを押してください。

作成日

受注者名 株式会社 **自動転記** **⑤ 計画書の作成日を入力**

契約額(円) **⑥ 契約金額を入力**

工事期間 2025/01/10 **自動転記** 2026/02/27

新技術施工期間 ~

施工場所 **〇〇県〇〇市〇〇丁目地先** **⑦ 新技術活用する予定期間を入力**

活用理由 ※チェックボックスにチェックがない場合、入力されたコメントはNETISに登録されません。
※チェックボックスにチェックがある場合、コメント欄は入力必須です。

経済性 ~により、コストを削減することができるため。

工程 ~により、工程を大幅に短縮することができるため。

品質・出来形 ~により、施工精度および品質の確保が図れるため。

安全性 ●●●●●の危険作業がなくなるため。

施工性 ●●●●●が自動化されるため。

環境 ~により、環境に優しい作業ができるため。

その他 ()

必ず「記入完了」にチェックを入れてください。チェックがないまま登録ボタンを押しても、システムへ登録されません。

※VE技術については、登録後に契約額や工期などの変更があった場合でも、修正は不要です。活用計画書の提出をもって提出(登録)完了となります。

⑦ 新技術活用する予定期間を入力

⑧ 工事全体の施工場所(契約書に記入されている市町村名+地先)を記入
維持工事の場合で市町村が多岐にわたる場合、〇〇出張所管内でも可
*新技術の活用箇所ではありません。

【不適切な例】
 × 吉井川 左岸7k 800付近 × 国道2号、国道54号 × 現場、現場事務所
 × A1橋台、P1橋脚、〇〇橋、〇〇トンネル × 法面、舗装面、道路

【適切な例】
 ○ 広島県福山市引野町4丁目地内 ○ 島根県大田市温泉津町～江津市松川町地内
 ○ 〇〇出張所管内

⑨ 主な活用理由を記入(1項目のみでも良い)

活用計画書は、この技術を活用しようとした主な活用理由のみで可。

Point
 活用理由は、6項目全て記載する必要はありませんが、活用効果調査表は、活用理由に係わらず6項目の評価が必要です。
 活用後編(7)参照

必ずをクリックし、を入れ理由を入力します。

活用理由について

活用理由は、NETIS情報にある「従来技術との比較」も参考にして記載して下さい。

(参考) NETISホームページ

項目	従来技術との比較	活用効果	比較の根拠
経済性	向上 (41.95%)	同程度	低
工程	短縮 (50%)	同程度	高
品質	向上	同程度	低

比較する従来技術 平爪を装着したバックホウ+人力別働作業

「活用の効果」欄はあくまで参考とし現場の意見を記載してください。

新技術活用計画書の提出

【施工者の入力完了したら】

① 施工者は入力完了したら、必ず**記入完了のチェック**をしてから「登録」ボタンをクリックする。

A, VR 技術 または**VE技術**により、対応が変わります。

VE技術 : ② 活用計画書登録後、発注者に通知メールが送信されるため、発注者は、システムにログインして内容を確認し、間違いがなければ「登録」ボタンをクリックする。**VE技術は、修正がなければ、これで全ての活用手続きが完了です。**
⇒ 修正が必要な箇所があれば、施工者に対し「修正依頼」ボタンにて修正を依頼する。

A, VR技術 : 活用計画書作成時点で登録しても発注者に、通知メールは送信されません。

⇒ 施工者が新技術活用後、活用効果調査表を提出した時点で発注者に通知メールが送信されます。(活用後編③を参照)

画面を閉じる 一時保存 印刷・プレビュー **登録**

※120分間でタイムアウトします。作成の都合、一時保存を行ってください。一時保存は画面上部メニュー「一時保存」をクリックしてください。詳細は、ページ①へ

① 下記記入完了にチェックを入れ登録ボタンを押す。

技術活用提案日 2025/01/31

登録番号(技術活用提案日時点) KT-240161

新技術名称 パワーアシストスーツ「J-PAS Able」

比較する従来技術 作業員の人力による作業

組織機関名 中国地方整備局

部署・事務所名 中国技術事務所

工事名 令和6年度国道2号・54号●●地区他修繕工事

工事/業務の種類 工事

活用等の型 施工者選定型(契約後提案)

※「活用等の型」の選択にあたっては、下記「新技術活用スキーム実施要領」を参照してください。

登録番号(最新) KT-240161

新技術活用計画書

記入完了

※下記項目の記入が完了したら、記入完了にチェックを入れて、「登録」ボタンをクリックしてください。

施工者

活用計画書提出時点ではVEのみメール発送

VE 技術

- 登録ボタンを押すと監督員へ確認依頼メールが發送され、状態も「施工者作成中」から「監督者確認中」となります。
- 発注者が確認後登録操作し、その後中国技術事務所のチェックまで完了すると状態が「公開済」に変わります。「公開済」になれば**全て完了です。**

A, VR 技術

- 登録ボタンを押しても、監督員へ確認依頼メールは發送されませんが、システム上では「活用計画書提出済」になります。
- ※NETIS番号の末尾記号が「-A」「-VR」となっている技術において、活用計画書のみ登録した場合、調査表/計画書作成状況は「**施工者作成中**」のままとなります。(メール未發送)
- 活用計画書に加え、実施報告書及び活用効果調査表/活用計画書を登録することで調査表/計画書作成状況が「**監督者確認中**」となります。(監督者へはこの時点でメール發送)

【発注者】活用計画書入力画面

発注者

画面を閉じる 一時保存 印刷・プレビュー **施工者へ修正依頼** **登録**

※120分間でタイムアウトします。作成の都合、一時保存を行ってください。一時保存は画面上部メニュー「一時保存」をクリックしてください。詳細は、ページ①へ

技術活用提案日

登録番号(技術活用提案日時点)

- ② 内容を確認し、「修正依頼」または「登録」をクリック
- 内容に不備があり施工者へ修正を依頼するときは、「**施工者へ修正依頼**」をクリック
 - ⇒ 施工者へ修正依頼メールが發送されます。詳細は、ページ①へ
 - 内容に問題がない場合は「**登録**」をクリックします。
 - ⇒ 中国技術事務所へ提出されます。

確認者から発注者(監督員)への確認・修正依頼

発注者は確認者（中技・確認委託者）から依頼があったら依頼内容を確認し、必要に応じて施工者へ修正を依頼する。
※確認・修正依頼メールは、発注者のみに送付され、施工者には送付されませんので発注者より依頼が必要です。

① 確認依頼メールのリンクをクリックする。

新技術活用工事
発注者 ご担当者様。

活用計画書の内容修正依頼が届いております。
以下のリンクから確認用 Web サイトにアクセスいただき、内容の修正をお願いいたします。

「活用計画書確認用 Web サイト」
活用計画書入力用 Web サイトへ

① リンクをクリック

【確認対象情報】

NETIS 番号: KT-230048
 受注者名: ○○株式会社
 組織機関名: 中国地方整備局
 部署・事務所名: 中国技術事務所
 工事名: ダミー工事3
 工事の Collins 番号: 4000000006

② システムにログインする。
③ 確認対象のボタンをクリックする。

活用効果調査表/活用計画書の作成・登録

ログインID: LMNOF
パスワード:
ログイン

② ログイン

発注者

受注者名: ○○株式会社
 組織機関名: 中国地方整備局
 部署・事務所名: 中国技術事務所
 工事名: ダミー工事3
 工事の Collins 番号: 4000000006

③ 確認対象技術の「活用効果調査/活用計画書」をクリック

NETIS 番号	技術名	調査表/計画書作成状況
KT-230048	小黑板電子化アプリ「SiteBox」	監督者確認中
OS-140003	自走式仮設水洗トイレカー	施工者作成中

④ 確認依頼内容を確認し、必要に応じて発注者から施工者へ修正依頼を行う。
⑤ 修正内容を確認し、問題なければ「登録」をクリックして中技へ提出する。

「一時保存」「施工者へ修正依頼」「登録」(中技へ提出)

④ 確認者からの修正依頼メールは、発注者(監督者)へしか送付されません。
⑤ コメント欄の内容を確認して、施工者に修正依頼を行う必要があるときは、このボタンを使って施工者に依頼して下さい。(修正依頼後はページ①を参照)

確認者からの確認・修正依頼の内容は、コメント欄に記載されています。記載内容を確認し、必要であれば施工者へ確認・修正作業を依頼してください。

ここに、コメントを入力して「一時保存」「施工者へ修正依頼」「登録」ボタンをいずれかを押すと上のコメント欄に移動して、コメントのやりとりができます。

コメント欄

記入完了
※下記項目の記入が完了したら、「[]」にチェックを入れて、「登録」ボタンを押してください。

作成日: 2025/02/04
 受注者名: ○○株式会社
 契約額(円): 5400000
 工事期間: 2025/02/04 ~ 2025/02/05
 新技術施工期間: 2025/02/04 ~ 2025/02/05
 施工場所: 広島市安芸区船場R丁目地先
 活用理由: 現場作業効率向上、安全管理の向上、作業の効率化によるコスト削減の期待。

登録済性
 工程
 品質・出来形
 安全性
 施工性
 環境
 その他

コメント欄
 2025/02/04 13:22:32
 2025/02/04 11:51:54
 中国技術事務所です。
 活用の型が、試用申請型(契約後提案)になっていますが、施工者選定型(契約後提案)の間違いではないでしょうか。

発注者(監督員)から施工者への確認・修正依頼

【発注者から施工者へ修正依頼があった場合】
 施工者は発注者から修正依頼（メールによる通知）があった場合は、確認対象技術の活用計画書のコメント欄を確認し、記載内容について確認・修正を行ってください。

- ① 確認依頼メールが届いたら、リンクをクリックする。
- ② ID/PWを入力しシステムにログインする。
- ③ 当該技術の新技术活用計画書を開く。

- ④ コメント欄の修正依頼内容を確認して修正する。
- ⑤ 修正が完了後コメント欄に修正完了の旨を記載する。
- ⑥ 登録をクリックする。

新技术活用工事
ご担当者様

活用計画書の内容修正依頼が届いております。
以下のリンクから確認用 Web サイトにアクセスいただき、内容の修正をお願いいたします。

[【活用計画書確認用 Web サイト】](#)
[活用計画書入力用 Web サイトへ](#)

【確認対象情報】
 NETIS 番号 **KT-230048**
 受注者名 ○○株式会社
 組織機関名 中国地方整備局
 部署・事務所名 中国技術事務所
 工事名 ダミー工事3
 工事のコリズ番号 4000000006

NETIS 新技術情報提供システム
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

ログインID wakpd32u
パスワード

ログイン キャンセル

ログインID/パスワードが不明な方はこちらから
新規登録

NETIS 新技術情報提供システム
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

工務/業務情報、連絡先等の変更

修正完了後「登録」をクリック

登録済有(技術活用開始日時) KT-230048 (VE)

新技術名称 小規模電子化アプリ「SiteBox」

比較する従来技術 黒色と赤色を使用したデジタルカメラによる写真撮影方法

組織機関名 中国地方整備局

部署・事務所名 中国技術事務所

工事名 ダミー工事3

活用種別 技術型(技術活用)

登録番号(更新) KT-230048 (VE)

工事/業務情報

受注者名 ○○株式会社
 組織機関名 中国地方整備局
 部署・事務所名 中国技術事務所
 工事名 ダミー工事3
 工事のコリズ番号 4000000006
 設計書番号 反映した設計書番号:
 ※NETIS上に工事情報が格納されている場合、情報を参照・転記できます。

作成対

活用効果調査表/活用計画書へ

活用効果調査表/活用計画書へ

活用効果調査表/活用計画書へ

NETIS 新技術情報提供システム
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

確認・修正依頼内容は、活用計画書のコメント欄に記載されています。
※型の確認が多くなっています。

記入完了
 以下各項目の記入が完了したら、口記入完了にチェックを入れて、「登録」ボタンを押してください。

作成日 2025/02/04

受注者名 ○○株式会社

契約額(円) 5400000

工事期間 2025/02/04 ~ 2025/02/05

新技術施工期間 2025/02/04 ~ 2025/02/05

施工場所 広島市宮野区私塾南村1丁目地先

活用理由

信頼性 ○○はよりコスト

工期

品質・発表形

安全性

施工性

コメント欄

記入欄

不備①：ID発行後、施工者から活用計画書が提出されない。

活用計画書の提出はIDの発行後速やかに実施して下さい。

- ID発行＝活用計画書提出ではありません。VEにおいてもID発行後、活用計画書の提出まで必要です。
- 活用計画書は、新技術活用前に提出と実施要領に記載されていますので、A、VRも活用前に提出を行う必要がありますのでID発行後、速やかに活用計画書の提出が必要です。

不備②：発注者（監督員）から技術事務所へ提出（登録）されない。

施工者が提出後、発注者（監督員）が内容を確認して発注者画面から登録ボタンを押さないと中国技術事務所へ提出されません。

NETIS登録の流れ
[提出の時期]

ID発行

活用計画書提出（VE, A, VR共通）
[施工計画書と同時期]

新技術活用

活用効果調査表提出（A, VR）
[新技術活用後速やかに]

工期末

新技術活用時の登録資料一覧

末尾の記号	活用計画書	実施報告書	活用効果調査表（施工者用）	活用効果調査表（発注者用）
VE	必要	不要	不要	不要
A	必要	必要	必要	必要
VR	必要	必要	必要	必要
登録時期	着手前	新技術活用後速やかに (工期途中でも可)		

◆ 「新技術活用計画書」の提出時期は、契約図書により施工計画書提出と同時期と記されています。

「公共工事等における新技術活用システム」実施要領 抜粋

○新技術活用計画書の提出

- ①施工者は、新技術活用計画書を作成し、**施工計画書とともに発注事務所に提出する。**
- ②発注事務所は受理した活用計画書を、技術事務所（港湾・空港に係る技術については整備局等本局）に提出するものとする。

*現在はシステム登録を提出として運用しています。

技術活用提案日	2025/04/02
登録番号(技術活用提案日時点)	KT-140091 - VE
新技術名称	インテリジェントマシンコントロール油圧ショベル
比較する従来技術	オペレータの目視により作業機を手動操作する運転
組織機関名	中国地方整備局
部署・事務所名	中国技術事務所
工事名	令和7年度国道2号・54号●●地区他修繕工事
工事/業務の種別	工事
活用等の型	試行申請型(契約後提案)
登録番号(最新)	KT-140091 VG

※「活用等の型」の選択にあたっては、下記「新技術活用スキーム実施要領」を参照してください。

不備③：「活用等の型」が間違っている。

試行申請型、フィールド型、テーマ設定型などで提出されている場合は間違いの可能性が高いです。

→上記の活用等の型は、非常に特殊な型です。

発注者から指示があった場合のみ選択して下さい。

不備④：VG,AG技術が登録されている。

この表示が「VG」又は「AG」になっている場合は、その日時点で新技術ではなくなっていますので基本的に登録不可です。

(注) 年度跨ぎにおいて3月に技術活用提案を行い、その時点ではA, VR, VEだった技術が、システム登録が4月にずれてVになっていた場合等に限って登録可能です。
(技術活用提案日は遡れます。)

記入完了

※下記項目の記入が完了したら、記入完了にチェックを入れて、「登録」ボタンを押す

作成日 ※「新技術活用計画書」の作成日を入力してください

受注者名 山田建設株式会社

契約額(円)

不備⑤：記入完了のチェックボックスにチェックが入っていない。

チェックが入っていないと、登録ボタンを押してもシステム登録(提出)されません。

質問：間違えて登録してしまい修正を行おうとしたが、登録ボタンが表示されなくなり修正ができない。

回答：まずは、ブラウザバックしてもらい、右下に表示される調査表作成状況を確認して下さい。（下図参照）
 「中間確認者確認中」「最終確認者確認中」「公開済」状態の場合は、権限が事務所から上位に移っていますので、事務所では修正出来ませんので中技または、施工企画課へ連絡して下さい。権限を戻します。

「中間確認者確認中」「最終確認者確認中」「公開済」になると登録ボタンは消えます。

1~5件目 / 該当5件 表示件数 10 件	
	調査表作成状況 全て
活用効果調査表へ	CG-210020 ルーバーフェンスユニット 中間確認者確認中

質問：活用計画書を登録したが、一部の技術が監督員への確認メールが発送されない。（状態も施工者作成中から変わらない）

回答：VEについては、施工者の活用計画書登録と同時に、監督員へ確認メールが発送され、状態も施工者作成中から監督者作成中に変りますが、A、VRの場合は、現時点では、活用計画書提出時点ではメールも発送されず状態も“施工者作成中”で変わらない仕様となっています。
 また、A、VRの場合、活用計画書が提出済みかどうか、施工者・発注者では、確認する事ができない仕様となっています。しかし、管理者画面では、提出状況が把握できますので、A、VRについては、中技で適宜提出状況をチェックして、長期間未提出状態の場合、個別に連絡させて頂いています。

